

●国交省「自動車整備技術の高度化検討会」報告書まとまる！

2011年8月より開始された「自動車整備技術の高度化検討会」が4回の会議を経て88ページにおよぶ報告書を取りまとめ2012年7月3日に国交省ホームページで公開しました。

以下、概要を報告します。

汎用スキャンツールの標準仕様について

対応システム 機能(※)	主要システム				今後 追加する システム
	パワートレイン	AT/ CVT	ABS/ ESC	SRSEエアバッグ	
ダイアグコードの読取・消去	◎	◎	◎	◎	○
作業サポート	◎	◎	○	○	△
J OBD II	◎	◎	—	—	—
データモニタ	◎	◎	◎	◎	△
ブリースルームデータ読取	◎	◎	◎	◎	△
アクティブテスト	◎	◎	◎	—	△

J-OBDに関する項目にAT/CVTが追加されました。

ダイアグコードの読取消去については、4項目すべてが標準仕様に。

リアルタイムモニターやアクティブテストも標準仕様として盛り込まれています。

報告書では言及されていませんが、将来検査項目に OBD 点検が盛り込まれる場合は、この標準仕様を満たした機種が指定工具となる事は間違いのないでしょう。

◎: 第一段階の標準仕様

○: 2013年度後半～標準仕様

△: 装着率等を考慮し順次拡大

大型車(ディーゼル商用車)のスキャンツールについて

乗用車の例を参考に、平成24年中にパブリックコメントを募集し、ガイドラインを策定する予定。

研修制度について

整備士の技能向上を図る為、平成24年度から基礎研修が平成25年度から応用研修が、それぞれ業界団体において開始される事となったが、具体的なカリキュラム等についてはこれからの検討課題である。

汎用スキャンツールの普及について

業界による共同購入により価格を低廉化する等、普及に向けた具体策を早急を実施していく事としている。

その他、詳細につきましては、下記のホームページから資料をダウンロードしてご覧下さい。

◆国交省 自動車整備技術の高度化検討会 会議資料

http://www.mlit.go.jp/jidosha/jidha_fr9_000009.html